

1. 第20回フォーラムの開催 (2019. 3. 16)

第20回山のトイレフォーラムが札幌エルプラザ・環境研修室で40名の参加者を迎えて開催しました。テーマは「トムラウシ・美瑛富士トイレ問題のこれから」です。発表は次の3テーマでした。

- (1) 2018年美瑛富士携帯トイレブースの取り組みについて：東川自然保護官事務所 齋藤明光氏
- (2) 美瑛富士携帯トイレシステム試行的導入・4年目の活動：美瑛富士トイレ管理連絡会 仲俣善雄
- (3) トムラウシ南沼汚名返上プロジェクト2年目の活動報告と今後の取り組み
十勝総合振興局 牛嶋あすみ氏

環境省の美瑛富士アンケート調査(101件)では、携帯トイレ普及取組みの認知度は86%(昨年66%)、所持率77%(昨年62%)と昨年より向上しました。

トムラウシ南沼での取り組みの認知度は89%、所持率は93%と高率でした(114パーティ・件)。

議事要旨とフォーラム資料集はホームページに掲載されていますのでご覧ください。



第20回山のトイレフォーラムの様相

者に使ってもらうことにしました。150個用意しましたが、持ち出しは142個でした。3年間の施策で2020年は実施しない予定です。

北海道の山岳団体による点検パトロールは下記のとおり全部で8回実施することができました。

- ・6月23日：テント型携帯トイレブース設置(※)(点検パトロール)
- ・7月14日：札幌山岳連盟
- ・7月21日：日本山岳会北海道支部
- ・7月28日：北海道山岳連盟
- ・8月 4日：道北地区勤労者山岳連盟
- ・8月11日：山のトイレを考える会
- ・8月18日：大雪山国立公園PV連絡会
- ・9月 1日：道央地区勤労者山岳連盟
- ・9月18日：北海道山岳ガイド協会
- ・9月29日：固定式トイレブースの冬囲い(※)

(※) 環境省、美瑛山岳会、山のトイレを考える会
回収ボックスの設置、使用済み携帯トイレの処分は美瑛町と上富良野町で担当していただいています。



美瑛富士の固定式携帯トイレブース

2. 美瑛富士に待望の固定式携帯トイレブース新設！(2019. 9. 10運用開始)

2015年に開始した美瑛富士避難小屋へのテント型携帯トイレブースの試行的設置は5年目となり6月23日設置しました。環境省は過年度からの試行で必要性和有効性が明らかとなり、6月に固定式携帯トイレブースの新設工事を発注、9月10日に運用開始しました。

考える会では一昨年、昨年に引き続き、無料携帯トイレを避難小屋内に配備し、携帯トイレを所持していない登山



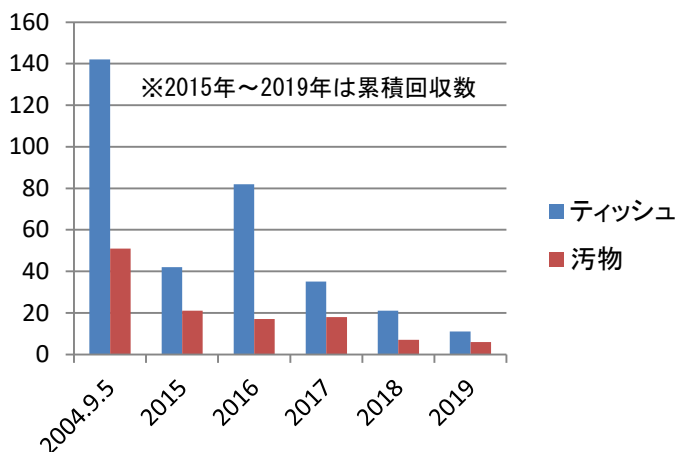
冬囲い作業(9月29日)

3. 美瑛富士の携帯トイレ普及取り組み

環境省が実施した美瑛富士避難小屋での2019年アンケート調査（91件）結果、携帯トイレ普及取り組みの認知度は90%、所持率は79%と昨年より向上しました。

また、2015年から5年間の美瑛富士トイレ管理連絡会によるティッシュと汚物の回収数の推移は下図のとおりで年々少なくなってきました。

携帯トイレブースの設置、回収ボックスの設置、各山岳団体による広報、さらに新聞などのマスメディア、ホームページやSNSを活用した広報等いろいろな施策が結果として表れたと思います。



美瑛富士のティッシュと汚物回収数の年度推移

4. トムラウシ南沼に固定式携帯トイレブース1基増設（2019. 7. 10）

トムラウシ南沼汚名返上プロジェクト（事務局：十勝総合振興局）の活動は3年目となりました。2017年、2018年とアンケート調査を実施した結果、現行の1基では不足であることが分かり、1基増設することとなりました。

プロジェクトメンバーの新得山岳会、環境省、十勝総合振興局が役割分担して設置することができました。現行のブースも塗装を施しリニューアルしました。



7月に設置された2基目の携帯トイレブース

5. 山のトイレマップ、8,000部配布（2019. 7～9）

「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」が昨年の7月に発表されました。当会では、トイレ、携帯トイレブース、携帯トイレ回収ボックスの位置、登山口近くの販売店が載るトイレマップを作成し、各所に配備・配布しました。宿泊施設、ビジターセンター、森林管理署などの協力をいただき、大雪山国立公園の11カ所で6,400部、知床、利尻山等で1,600部、全部で8,000部配布できました。



各所に配備した透明のアクリルケースとマップ

6. 札幌チカホで写真展（2019. 8. 2～3）

札幌の地下歩行空間で一般社団法人大雪山・山守隊の主催で写真展が二日間に亘って開催されました。当会と大学の研究者も山守隊から出展を呼びかけられ参加することができました。

写真展の訪問者は二日間で663人と多くの人が足を止め見ていただきました。声をかけていただいた山守隊に感謝いたします。



札幌地下歩行空間での写真展の様子

連絡先

（郵便）004-0061 札幌市厚別区厚別西1条2丁目3-18 小枝方
山のトイレを考える会 事務局
電子メール：hokkaido@yamatoilet.jp
電話：事務局長・仲俣（090-4873-3525）FAXなし

（編集担当）
仲俣 善雄